

## 調査レポート

## 2017年1～3月期のGDP(2次速報)予測

調査部 主席研究員 小林真一郎

6月8日に内閣府から公表される2017年1～3月期の実質GDP成長率(2次速報値)は、**前期比+0.8%(年率換算+3.2%)**と1次速報値の同+0.5%(同+2.2%)から上方修正される見込みである。

上方修正される主因は、企業の設備投資である。公共投資も上方修正される可能性があるものの、全体への影響は軽微にとどまろう。その他の項目については、大きな修正はない見込みである。

名目GDP成長率についても、前期比-0.0(年率換算-0.1%)から、同+0.2%(同+0.9%)に上方修正されると見込まれる。また、GDPデフレーターは、前年同期比-0.8%から同-0.7%に若干修正される可能性がある。

	2015年 10-12	2016年				2017年 1-3	前期比(%)	
		1-3	4-6	7-9	10-12		1-3 (1次)	変化幅 (%ポイント)
実質GDP	-0.3	0.6	0.4	0.2	0.3	0.8	0.5	0.2
同 (年率)	-1.0	2.6	1.7	1.0	1.4	3.2	2.2	1.0
同 (前年同期比)	0.9	0.5	0.9	1.1	1.7	1.8	1.6	0.2
内需寄与度 (*)	-0.3	0.2	0.5	-0.1	-0.0	0.6	0.4	0.2
個人消費	-0.6	0.3	0.2	0.4	0.0	0.4	0.4	0.0
住宅投資	-0.8	1.1	3.1	2.7	0.4	0.7	0.7	0.0
設備投資	0.0	0.1	1.3	-0.2	1.9	1.6	0.2	1.3
民間在庫 (*)	0.0	-0.3	0.3	-0.4	-0.2	0.1	0.1	0.0
政府最終消費	0.7	1.4	-1.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0
公共投資	-1.6	-0.3	0.7	-1.3	-3.0	0.3	-0.1	0.3
外需寄与度 (*)	0.0	0.4	-0.1	0.4	0.4	0.1	0.1	0.0
輸出	-0.2	0.5	-1.4	1.9	3.4	2.1	2.1	0.0
輸入	-0.3	-2.0	-1.1	-0.2	1.3	1.4	1.4	0.0
名目GDP	-0.3	0.9	0.2	0.1	0.4	0.2	-0.0	0.3
同 (年率)	-1.1	3.7	1.0	0.3	1.7	0.9	-0.1	1.1
同 (前年同期比)	2.5	1.4	1.3	1.0	1.6	1.1	0.8	0.4
GDPデフレーター (前年同期比)	1.6	0.9	0.4	-0.1	-0.0	-0.7	-0.8	0.1

(注) 内需寄与度、民間在庫、外需寄与度は実質GDPに対する寄与度  
(出所) 内閣府「四半期別GDP速報」

主な需要項目別の動向（実質ベース）は以下の通りである。

- ・ 個人消費、住宅投資は、その後発表された統計を勘案しても、大きな修正はないであろう。
- ・ 民間企業設備投資は、需要サイドの統計である 2017 年 1～3 月期の法人企業統計において、季節調整済みの設備投資が前期比 +1.3%と増加したことを勘案すると、1 次速報値の前期比 +0.2%から同 +1.6%に上方修正されるであろう。
- ・ 在庫投資は、10～12 月期の法人企業統計の結果を踏まえても、実質 GDP に対する前期比寄与度に大きな修正はない見込みである。
- ・ 公共投資は、3 月の建設総合統計の結果を反映すると、1 次速報値の前期比 -0.1 から同 +0.3%に上方修正されると予想される。
- ・ 輸出及び輸入については 1 次速報値からほとんど変更はないとみられ、実質 GDP に対する前期比寄与度も 1 次速報値の +0.1%のままであろう。

- ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。